

コース 28 やつがたけ ハケ岳

リーダー CL T/Y SL E/S

実施日 平成25年9月8日(日)、9日(月) 天候 8日 雨、9日 晴れ

参加者 13人 (男性 4 女性 9) グレード C上~D

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
8日秋葉区役所前		5:10	高速道諏訪湖SAで身支度
美濃戸口	9:40	9:45	車道歩き。マイカーだと山荘まで入れる
美濃戸山荘	10:52	11:10	美濃戸から南沢コースへ
稲荷岩陰	12:00	12:20	小雨続く。中で昼食
行者小屋		14:10	行者小屋で天候の回復を待つ。地藏尾根コースへ
地藏の頭		15:35	地藏尾根のハシゴクサリ場を慎重に。お地藏さまに祈願
赤岳展望荘	16:05		個室で得をした。話題は恐怖の地藏尾根登り
9日赤岳展望荘		5:45	朝食バイキング、満腹、コーヒーも到着から飲み放題
赤岳山頂	6:28	7:00	赤岳山頂、ガスの晴れ、雲の間から富士山も
中岳コル	8:18	8:22	山頂直下の長いクサリ場、問題無く通過
阿弥陀岳	8:50	9:00	阿弥陀岳は空身で。雲海の彼方にアルプスが
中岳コル	9:34	9:45	下山はメンバーの元気な姿
行者小屋		10:40	眺望の良い北沢コース
赤岳鉱泉	11:10	11:45	昼食
美濃戸口山荘	13:22	13:22	
美濃戸口	14:10		もみの湯にて入浴 15:10 発
秋葉区役所前	19:30		

山行等概要（幹事のコメント）

- 悪天候予報で一日日延べして出発。小雨が降り続く中、南沢コース行者小屋に到着。お昼前後は強風雨でしたとの事。スタッフと協議の上、梯子場まで登ることにした。
- 内心梯子まで行けば、展望荘に手が届く、ゆっくりゆっくりと励ましながら稜線のお地藏さまに願を捧ぎました。力がスート抜けました。
- 赤岳展望荘は、100名山の中でも人気の小屋です。食事は全てバイキング食べ放題、釜風呂とシャワーあり、一人ひとりに名前入りカップを渡され、コーヒー、お茶が飲み放題です。
- 早めに予約でしたので、個室（別料金 3000 円）をサービスしてくれました。



赤岳山頂 2,899m

- 夕食まで談話室で持ち寄ったお酒、おつまみでミーティング。地藏尾根を登りきった満足の話題です。
- 9日小屋付近はガスに包まれていました。山頂は雲海の上、各アルプスは海に浮かぶ島々のように見え、富士山も姿を見せてくれました。
- 山頂直下の今コースの最大難所、分三郎通、急こう配と狭い岩場、鎖クサリの連続で、緊張で手に汗がにじみ、喉はからから慎重に下りました。この緊張感が山登りの魅力の一つかも？
- 阿弥陀岳を空身で登り、広い山頂では一回り眺望を楽しんだ。予定の二つのピークをクリアした。予定の下りコース南沢は将棋の駒をばら蒔いたような道、先日の雨で悪路の筈、少し周り道になるが、安全な北沢コースに変更しました。今山行は登山の魅力と山小屋泊りの楽しさを味わいました。急こう配は靴の幅でゆっくりと歩き、岩場は三角支持を堅持すれば日本アルプスを登れる。証明できた二日間でした。参加されたメンバーの方、良く頑張りました自信を持っていろいろな登山に挑戦して、新しい自分を発見してください。



赤岳展望荘にて。これから主峰赤岳へ

八ヶ岳（赤岳）に参加して

(1315) E/S

南八ヶ岳は5年前、硫黄岳、横岳、赤岳、阿弥陀岳と縦走した事が有ります。その時怖かった事を思い出し参加しようか思い悩みました。でも今回は怖かった横岳を通らず地藏尾根を登る事になって居るので初めてのコースなので申し込みました。予定日通りに山行を実施すると2日とも余り天候が良く無いので1日順延で実施する事になりました。その為参加できない人も居ましたが悪天候はどうする事も出来ませんので仕方ない事と思いました。

1日目 天候 雨

雨の中明日は好天になる事を信じて早朝に新津を出発、雨降りの為途中のSAでトイレと山登りの準備をして美濃戸口に着きました。上下の雨具を着けストレッチの後小雨の車道を歩きます。時々後ろから来る車に追い越される。乗用車は通行するもマイクロバスはダメ？、車で行く人達を羨ましく思いながら登りの車道を1時間余り掛けて登山口の有る美濃戸山荘に着きました。此处で少し休憩、雨は止まず登山口より今日は予定を変更南沢コースに入ります。川沿いの樹林帯の斜面につけられた道で雨の為歩きづらいです。途中岩の上に祠の有る所で昼ご飯にしました。雨の中での食事は辛いですが寒く成ると困るので持参の焼酎を一口舐める。少しのアルコールは血行を良くしリラックス出来食事もおいしく疲れも取れます。下山して来た人の話によると行者小屋辺りから上は雨風が強くと山頂を目指した人達が強雨風に阻まれ途中で撤退して来た人が居るそうです。此处は沢沿いなのか風は全く有りませんが上はそんなに風が強いのか？とりあえず行者小屋迄行き如何するか決める事にしました。小屋の近くで下山して来た若者2人に話を聞くと山頂を目指したけど尾根に出ると雨風が強くと撤退して来たそうです。展望荘まで行かれるかと聞いたら無理でしょうとの事でした。小屋に着くと雨は降って居ますが風は全く有りません。小屋に居た若者2人に話を聞くと、文三郎道から登り尾根に出ると雨風が強くと



昼ご飯

撤退して来て今晚は行者小屋に泊まるそうです。我々が展望荘まで行くと言うと無理ですね。今晚は此の小屋に泊まったらと勧められました。此処からは展望荘に携帯が通じず上の様子が分かりません。悪天候なら此処に泊まりたいと言う人も出て来たのでリーダー、サブリーダー、班長と相談の結果先ずは尾根迄出て様子を見る事にしました。途中無理な人はサブリーダーの私が責任を持って行者小屋まで引き返す事にして地蔵尾根の登りが始まります。最初は樹林帯の中の急登、疲れ出した人も出て来たのでゆっくり、ゆっくり登ります。途中展望荘への携帯も通じリーダーが様子を聞くと11時頃が天候は1番悪かったそうです。今は安全で小屋まで行けますかと聞いたら、此方からは安全だからいっちゃいとは言えない、自己責任で来てくれと言う事でした。此処で又リーダー、サブリーダー、班長の4人で相談、天候は回復に向かっているので地蔵の頭迄行きそこから小屋までは直ぐなのでバテ気味の女性は男性4人でサポートし小屋まで行く事にしました。階段、ハシゴの始まる直ぐ下で若者2人が休憩中でした。話を聞くと山頂迄行き今下山中だそうで尾根は雨風が強く大変だったそうです。これから展望荘まで行くのですが行かれますか？と聞いたら厳しいですねと言われました。



鉄ハシゴ

鉄ハシゴやクサリ場の登りが始まり「三点確保」を皆に徹底させて急がず、焦らず、慎重に登ります。途中のお地蔵さまに無事登れますように手を合わせお願いしました。その後も慎重にクサリにつかまりながら地蔵の頭の尾根に出ると雨は少し降って居ますが風は全く有りません。30分程前に会った若者の話とは大違ひまるで狐に騙されたみたい。「もしかしてお地蔵さんが願を聞いてくれたのかな？有りがたい事です」風の無い尾根は危険な事は有りません。無事赤岳展望荘に着きました。今日は悪天候なので宿泊者は私達13人を入れて20人と空いていました。ちなみに昨日は満室だったそうです。(定員は200人)山荘の好意により大部屋料金が個室(3人部屋)を5室用意して貰いました。(大部屋9,000円 個室

12,000円)此の小屋には五右衛門風呂が有り着いた時の間帯は男性でしたので雨や汗で濡れて居るので直ぐ風呂に入り着替える事にしました。五右衛門風呂は大きなお釜です。シャワーで身体を洗い(シャンプー、石鹸は禁止)男4人一緒に入り釜湯での刑、気持ち良かったです。その後いつもの通り談話室でミーティング、アルコールを舐めながらお喋り、楽しかったです。食事はバイキング方式、浴を出して取り過ぎは大変です。皆生ビールを注文して居ますが寒いので持参の菊水一番絞りで乾杯、お湯とコーヒーは飲み放題、飲み水は買わなければいけないのでペットボトルに持参の水を半分ずつ入れそこにお湯を入れて2倍にする。3人部屋の個室を2人で使用、ゆったりと休めます。寝る前コーヒーの飲み過ぎ頭が冴えて眠れませんでした。失敗。

2日目 天候 曇り後晴れ

朝目を覚まし外に出ると雨は降って居ませんがガスって居て周りが見えません。朝もバイキングの食事の後集合写真を撮り出発、周りは何も見えませんがそのうちガスが切れる事を願い赤岳山頂へ目指します。途中からクサリにつかまってる登り、慎重に1歩1歩進みます。登り切った所が北峰で山頂小屋の有る所です。神社や三角点は此処より少し下り又登った所の南峰です。この頃より少しずつガスも切れ出し遠くの山々が雲の上から頭を覗かせて来ました。あれが南アルプス、こっちに北アルプス、槍ヶ岳が見えた、富士山も見えたと大喜びでした。集合写真の後山頂を後にし 中岳のコルを



展望荘前で

目指します。山頂から文三郎道分岐の間がこの山行の一番の難所です。特に下りは危険が伴います。皆に三点確保、間をあけて歩く又、急がず、焦らず、ゆっくり慎重に、を徹底して貰いました。クサリにつかまり長い下りを歩くと緊張したのか口が渴き途中で水を飲む。全員無事分岐に着き中岳の見える鞍部で休憩、途中のザレ場にコマクサが有りました。花は有りませんでした。葉っぱは緑が濃く綺麗でした。又トウヤクリンドウも咲いていました。

此処から中岳を越え中岳のコルに着く。此処で一



赤岳から慎重に下山

休み、希望者は此処にザックを置き目の前の阿弥陀岳に登ります。阿弥陀岳の岩場の登山道を見ると何か登って居る物が見えます。登山者では有りませんが「登山中」でそのうち何処か見えなくなりました。阿弥陀岳への登りは急の鉄の梯子から始まりま



す。その後カモシカが登山中だった岩場を鎖につかまり岩場の基本三点確保で登ります。ザレ場を登

り山頂に着く。山頂は少々広く信仰の山なのか苔むした石の阿弥陀様が鎮座して居ました。此処も眺望の良い山ですが今日はガスが掛かり余り良く有りません。ガスが切れ赤岳をバックに写真を撮ろうと思うと直ぐガスが掛かり良い写真が撮れませ

ん。意地悪なガス！集合写真も撮り下山します。下りは登りより大変、慎重に、慎重に下ります。コル

まで下り休憩した後行者小屋を目指します。リーダーから此処から歩き出して直ぐ危険箇所があるので注意して通過するよう指示が有りました。途中滑りやすい急の斜面の登山道にロープが取り付けられていてロープにつかまり慎重に下ります。

途中1度休憩、行者小屋に着きました。

今日は良い天気なので昨日と一変小屋前の広場は我々シルバーと違い若者達で溢れて居ました。此

処で大休止、帰りは安全の為少し時間は長く成りますが北沢コースを歩くそうです。昨日登った地藏尾根への分岐を通り気持ち良い樹林帯の中を赤岳鉱泉へ目指します。道は歩き易く赤岳鉱泉に着き小屋前のテーブルで昼ご飯にしました。今日のご飯は飯豊で残ったアルハー米の赤飯、朝のうちに水を入れておきました。食事前に残りの焼酎を舐めた後ご飯を食べました。やはり私には少力で良いのですが食事前アルコールが無いと元気が出ません。食事の後川沿いの道を何度か橋を渡り砂防ダムを越え林道に着きました。駐車場には山小屋関係の車が数台ありました。此処より急な下りの林道歩き足の爪が痛く成ります。美濃戸山荘で休憩、此処から先は昨日歩いた車道歩き、昨日1時間余り掛かっ所を今日は下りなので40分で美濃戸口に着きました。此処よりマイクロバスで「もみの湯」迄行き汗を流した後風呂上がりのビールを飲みバスに揺られて新津迄、途中リーダーのハーモニカ演奏を夢心地で聞きながら、又、高速道路事故で通行止め、1インター間一般国道を走りましたが予定時間より少々早く新津に着きました。今回の山行は1日目雨の中、風が強いとの情報、百名山の此のコースなかなか厳しかったですが事故も無く、1人の落後者も無く無事終わりました。私を初め参加者の皆さん良い思い出になった事と思います。山行を計画したリーダーさん

会計さん、各班長さん、参加者の皆さん有難う御座いました。私はただ後を歩くだけでした。



賑わう赤岳山頂



ニホンカモシカ



美濃戸



雨の南沢



行者小屋着 13時50分



地藏尾根第二梯子



夕食



9日 展望荘前で



赤岳の登り



山頂が見えてきた



ガスの中を登る



赤岳山頂 ピンボケだけど記念だ！



山頂で思わず万歳



山頂から南アルプスを望む



慎重に下山



赤岳から下山



足元注意して下山



嬉しさ倍増



阿弥陀岳の身軽で登り



阿弥陀岳山頂 女性陣 万歳！！



阿弥陀像の山頂



登った赤岳



阿弥陀岳下山



北沢を下山



あけぼのそう



クサボタン